

科目名	作品研究 4								年度	2025
英語科目名	Arts research 4								学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	青野りえ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター			
【科目の目的】 新時代のアーティストと作品の方向性、音楽、美術、写真、デザインなどの4つのアート形態を学び、考察力を養う。。また、自己認識を作品を通じて高め、セルフ・プロデュースのスキルを向上させ、アートの知識を自身の作品やパフォーマンスに応用するためのプランを立案する。										
【科目の概要】 音楽業界のありかたやエンタテインメントの将来を、メディア業界全体の動きに照らし合わせながら、新時代のアーティスト・作品のあり方について考えていきます。										
【到達目標】 A. 音楽・美術・写真・デザインの中から 4 種類のアートについて学び、考察力を習得する。 B. 作品を通して自分を見つめ、セルフ・プロデュース能力を高める。 C. アートの知識を自分の作品やパフォーマンスに生かす企画を立案する。										
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル 1 要努力					
到達目標 A	音楽・美術・写真・デザインの中から 4 種類のアートについて学び、考察力を習得する		音楽・美術・写真・デザインの中から 2 種類のアートについて学び、考察力を習得する		到達目標Aについてさらなる努力が必要					
到達目標 B	作品を通して自分を見つめ、セルフ・プロデュース能力を高める		セルフ・プロデュースの意義を説明できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要					
到達目標 C	アートの知識を自分の作品やパフォーマンスに生かす企画を立案する		授業で習ったアートの知識を説明できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要					
【教科書】 特になし										
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する										
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表・提出物30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等